

平成29年度尾瀬自然解説ガイド研修会の概要

1 ねらい

- ①尾瀬自然解説ガイドのそれぞれが持つ個性や持ち味を相互に体験することを通じて、さらなるガイド技術の向上をもって質の高い環境学習の提供を図る。
- ②ガイドに求められるガイディング技術を相互にチェックして、他団体と協働していくための共通的・標準的ガイド技術を身につける。
- ③尾瀬ボランティアにガイディングを体験してもらい広く意見・感想を求めるとともに、尾瀬自然解説ガイドの事業を知ってもらう機会とする。

2 日程

平成29年 8月20日（日） 9：45～15：00

【集合】 9：45（山ノ鼻ビジターセンターレクチャールーム）

【開会】 9：45～10：00（参加者による自己紹介）

【研修】 10：00～15：00

【解散】 15：00（山ノ鼻ビジターセンターレクチャールーム）

3 研修内容

（1）ガイディング実習

【時間】 第1部 10：00～13：45（途中、適宜昼食休憩を取る）

第2部 13：45～14：30

【場所】 第1部 山ノ鼻 → 牛首 → 山ノ鼻（途中、適宜昼食休憩を取る）

第2部 研究見本園一周

【方法】

- ・ガイド役（尾瀬自然解説ガイド2～3名）とお客様役（尾瀬ボランティア3～5名）の計5～8名を1グループとする。
- ・ガイド役が各部で最低1回ガイディングするように適宜交代する。ガイド役でない場合はお客様役にまわる。
- ・第1部と第2部で班を編制する。
- ・お客様役（自然解説ガイド）はガイディングを評価する。評価の視点はガイディングに要求される諸課題と各ガイドが持つ個性など。

＜例＞・グループがつながらないようにお互い調整しているか。

- ・混雑する場所で立ち止まらないように配慮しているか。
- ・周辺に誤解されるおそれのある紛らわしい行動はしていないか。
- ・優れている点（個性）はどこか。
- ・新しい発見（ネタなど）はあったか。

・お客様役（尾瀬ボランティア）は感想を中心とした評価方法する。

- ・尾瀬自然解説ガイドのそれぞれの個性や持ち味を共有し、各自の悩みや困りごとを全員で考えて解決する。

（2）全体ふりかえり

【時間】 14：30～15：00

【場所】 山の鼻ビジターセンター

【方法】 各グループごとにふりかえりを実施し、全体で共有する。

<参考>平成28年度に実施した尾瀬自然解説ガイド研修会のふりかえり

【主な感想・意見】

- ・他のガイドの個性や解説方法などの様子が伺えて良かった。
- ・それぞれ詳しい分野が異なるため、参考になる情報があった。
- ・ガイドに時間がかかってしまった。
- ・顔見知りの仲での研修のため、緊張感がなくフランクになりすぎた。
→新規や一般のボランティアに対してガイドをするのも良いのではないか。
- ・同じような研修を実施して欲しい。
→今回の研修のようにガイドを実施した後に評価・反省をするのではなく、お互いに確認をしながらガイドする研修も良いのではないか。

【研修の様子】

